

本日のお話
特別講演

この時期に気をつけたい
感染症とその対策
～あなたが感染源と
ならない為に～

NPO法人日本感染管理支援協会
土井英史

さてこの時期は…
様々な感染症に罹りますから
感染対策を考えた時…

病名に着眼しすぎると
勘違いして
上手く行かないことが
ありますよ！

なぜなら…

ノロ、インフルエンザと既に
分かっていると言うことは…

既に医師による診断が
ついていると言うことですよね

その診断がつくまでに
しっかりとした感染対策が
出来ていないと“時すでに遅し”
と言うことがありますね

感染対策としては
“タイムラグ”
が出来てしまいました

感染対策としての
“タイムラグ”
とは何かと言いますと…

既に数日前から
ノロ、インフルエンザ
に罹っていた
と言うことになりますね

つまり“感染対策”とは…

発熱、頭痛、
咳などの症状
が出た時に

Ex, 人が…

いち早く
“アクション”
をとること
なんです！



Ex, 人が...



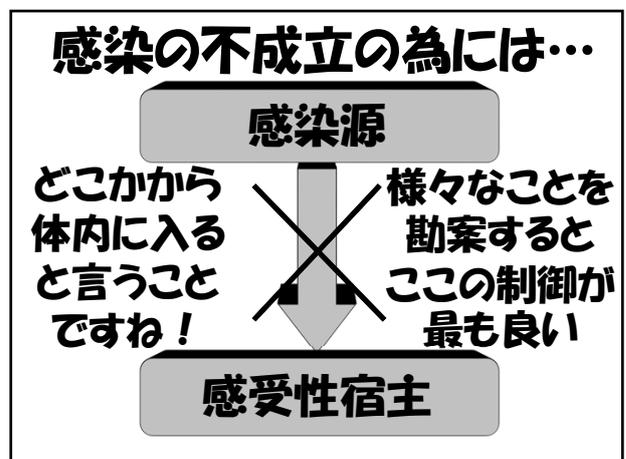
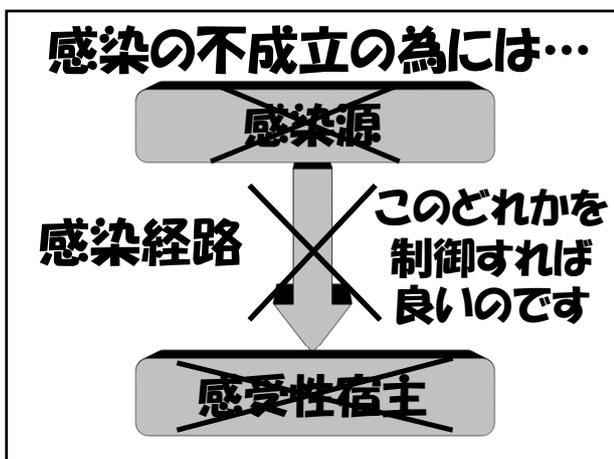
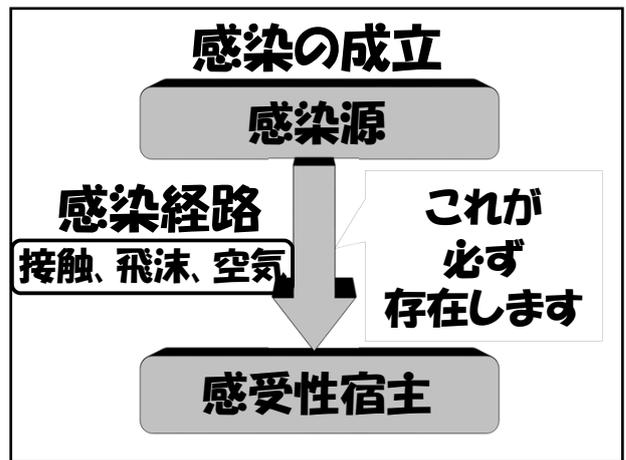
腹痛、嘔吐、下痢
発熱などの症状
が出た時に

いち早く
“アクション”
をとること
なんです

そこで
“どのようなアクション”
を取れば良いのかを
知る為に...

感染対策で必ず
押さえておかなければ
ならない感染の成立を
押さえておきましょう！

そうすれば
感染の成立させない方法
が分かりますので...



それでは…

どこから
体内に入るのか
一緒に
考えてみましょう！

まずは患者さんでない
一般人として
考えてみましょう

色々な“管”が
入っていることがないので

管経由で入ることはない
と云うことです！

まず
ご理解いただきたいことは…

手や体に
たくさんの微生物が
付いているだけで…

感染症になるわけでも
ありません！

それでは
どのような時に
感染するのでしょうか？

粘膜面に“直接”接触
した時に感染
するんです！

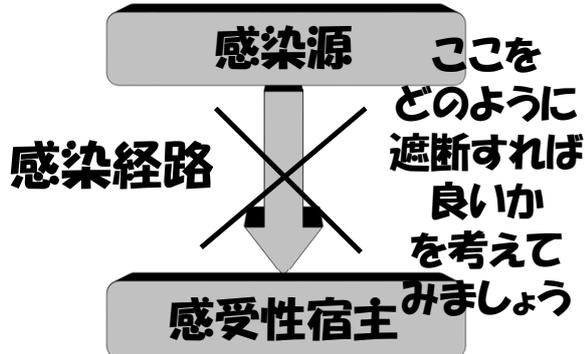
それでは
人間の
行動パターンで
どのような
粘膜面への“直接”接触
がありますかね？

これ“見事に感染”
しますね！

“目の粘膜”を触る
“鼻粘膜”を触る
“口腔粘膜”を触る

こんな子供達は
四六時中ありますよね！

感染の不成立の為には…



先程の事例ですが
子供達は
どのように

目の粘膜、鼻粘膜、口腔粘膜
に運んでいますか？

“手” ですよ！

つまり…

インフルエンザの時期でも
いくらマスクをしても…

“汚染された手” で
“目の粘膜” を触れば
感染しますよね！

とにかくインフルエンザは
“接触でも感染”
するんです！

このお話は今話題の
“風疹”
も同じですよ！

それじゃ
インフルエンザ対策
として
“マスク”
は意味がないの？

Yes or No

“Yes” としては…
飛沫の“まき散らし” を
防止する意味で…

インフルエンザ対策として
とにかく
“咳をしている全ての人”
にはマスク着用を
促しましょう！

これを
呼吸器衛生／咳エチケット
と言います



有効です
実はこれはインフルエンザだけ
ではなく全てに有効ですね！

呼吸器衛生／咳エチケット

なので
標準予防策なんですね！

この対策は
年間とおしての対策
であることを
ご理解ください！

いや～それにしても
教育って大切
ですよ！
孫ですが…

咳をする時にはしっかりと
口を手で覆う
ことができていましたよ！

“No”としては…

飛沫の曝露を
防ぐ為には…

目の保護
(アイシールド)
も必要ですよ！

その他 手による
直接粘膜接触
以外の問題点として…

色々な環境表面から
間接的に運ばれること
もありますよね！

ちなみに微生物は
環境表面で
こんなに
生き残りますよ…

**環境表面上の主要病原性微生物
の環境内での生存存続期間**

微生物	生存存続期間
黄色ブドウ球菌 (MRSA含む)	7日間～12ヶ月
腸球菌類 (VRE含む)	5日間～46ヶ月
アシネトバクター属	3日間～11ヶ月
クロストリジウム・ディフィシル (芽胞)	～5ヶ月
ノロウイルス(および猫カリシウイルス)	8時間から～2週間
緑膿菌	6時間から16ヶ月
クレブシエラ属	2時間から30ヶ月

Adapted from Nishiura H, Kobayashi M, Miyama T, et al. BMC Infectious Diseases 2006;6:131

インフルエンザ 48時間

**多分無意識
だと思いますが…**

**これも
気をつけましょうね！**

**なぜか色々なものを
“口にくわえる人”**

**また
日常生活の中で…**

**何と云っても
一番良く触るのが…**

スマホでしょ！

**その手で
皆でこんな感じで…**

食べたらいらないですか？

**とにかくスマホは
極めて汚れて
いますよ！**



**病院の
至るところに
ワイブ剤を
設置して**

**画面の
清掃・消毒
を推進して
いました！**

皆さんいかがですか？

**その他ご自分で
思い当たる
“癖”や“習慣”
で粘膜面接触する
ようなことは
ありますか？**

とにかく粘膜に接触する
とすることに関しては…

無意識が怖いですよ！

あなたが感染源と
ならない為に…

特にこの時期には
意識的に行動してくださいよ！

それでは結局
感染対策は
どうすれば良いのか
とすることですが…

皆さん既に
お分かりのように…

粘膜に接触する
“間際”
に対策を取れば良い
とすることに
なりますね！

手指衛生につきますね！

さらに
手指衛生が
大切であることが分かる
お話として…

ノロウイルス発生時の環境

スタッフ用便座
トイレのレバー
手洗いシンク
病棟の床
ワゴン車
便器処理装置
ビケットの缶の入れ物

全ての人々が日々接触する部分を
常に清掃ができるのでしょうか？

こんな時には間違いなく
全ての人々の手に
ノロウイルスはついていますよね？

なので
手指衛生は本当に大切です！

でもあなたの手指にノロウイルスが付着しただけで
感染症にならないことも
一緒に覚えておいてください！

もし
粘膜面を経由して
体内に入ったとしても…

“ワクチン接種”
により
予防しましょうね！

“ワクチン接種”
の意味は
あなた自身を守る
ことにも
なりますが…

“集団免疫”
という概念にも合致します

予防接種を受けている人が
増えれば増えるほど…

伝播リスクが減る
と言うコンセプトです

そういう意味からも
医療機関における
ワクチン接種率を
向上させる
ことは
非常に重要ですね！

ワクチン
接種率
向上
プログラム

病院幹部の方
々の接種
写真で促す



医療機関で
もう一つ気をつけなければ
ならないことは
病院に入る企業の方々の
ワクチン接種です！

皆さんのところでは
どのように
チェックしておられますか？

**そこで
米国のある病院では…**

**病院の入口に
“ベンダーメイトサービス”
として
機械が設置されています**

**インフルエンザワクチン
接種などは…**



**病院の
求める要件
(規制、予防
接種など)を
クリアすれば
シールが
プリントアウト
される**

**毎年更新しなければ
病院に入れない!**

日本で良く見かける光景として…

**インフルエンザワクチンを
接種していないスタッフが…**

マスクをつけない!

**インフルエンザワクチンを
接種しているスタッフが…**

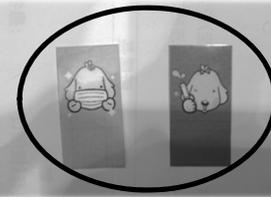
マスクをつける!

**価値のあるマスクの使い方を
しましょうね!**

私が

**Infection
Control
Coordinator
している…**

松本



**ワクチン接種
と
マスク使用に
このシールで
基準を設けました**

**本日お話しを聞いて
いただいた皆さんへの
お願いは…**

**是非それぞれの現場で
知っていることを
きっちりと実践してくれる
ことに期待したいです**

**あなたが感染対策を
してくれるだけで…**

**人々の“小さな幸せ”を
守ることができるんです!**

**それを
常に意識されてください!**